

①規格外や低未利用品の有効活用

## 旭川産の米を用いた農福連携による福祉用加工食品の開発・製造・販売

なかじま農園が生産する米を用いて、孤食化する社会情勢に対応した健康志向のレトルト商品を開発、製造、販売するとともに、障がい者の就労機会の創出を目指す。

### ➤ 連携体

農林漁業者

中島 張(農業)

高品質な米(ななつぼし、ゆめぴりか、おぼろづき等)の栽培、安定供給。

中小企業者

(株)フレアシステム(法人番号 1450001010150)(飲食料品小売業)

健康効果が期待できる副原料(黒米、キヌア等)を配合したレトルトごはん等の開発・製造、販売・販路開拓。

中小企業者

(株)旬喜野恵(法人番号 6450001010170)(飲食料品小売業)

なかじま農園が生産する米の選別・精米、新商品の販売・販路開拓。

(一社)北海道中小企業家同友会道北あさひかわ支部(法人番号 4430005005393)

連携参加者

(株)フレアサービス(法人番号 4450001006096)(持ち帰り・配達飲食サービス業)

本連携事業のコーディネート、一部の受託製造等を行う。

サポート機関等

(独)中小企業基盤整備機構北海道本部(法人番号 2010405004147)

### ➤ 連携の経緯

旭川市内で障がい者就労支援を行う(株)フレアシステムと、地域の農産物を販売する(株)旬喜野恵は、近年の孤食化及び食が細くなっている高齢者の健康維持を捉えた新商品開発の展開を模索していた。一方、なかじま農園は、圃場拡大を進める中、新たに安定した供給先の確保に課題を抱えていた。三者は北海道中小企業家同友会の会合で出会い、各々の経営課題を共有した結果、連携事業を実施するに至った。

### ➤ 連携に当たっての課題や工夫等

本事業は、食味に優れ消費者から評価の高い“なかじま農園のお米”を用いて、健康機能性を付加した商品を開発し、三社の経営改善を図るもの。また、商品の製造には、障がい者就労の機会を増やし、人手不足の解消も目指している。

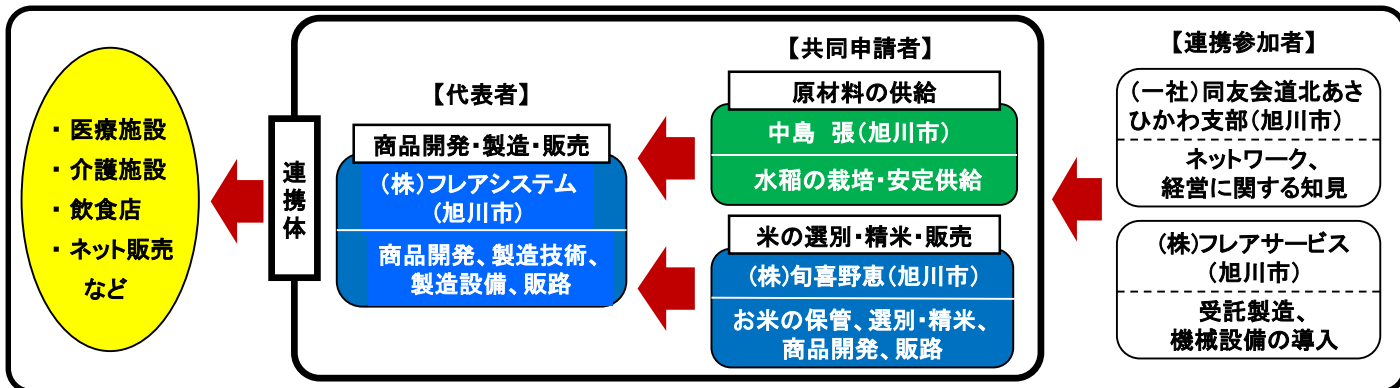
商品開発には、副原料との配合割合の検証、投入後の効果・効能、賞味・消費期限の確認等を周辺企業と連携して加工技術の構築を進めるとともに、共同ブランドを立ち上げ、(株)フレアシステム及び(株)旬喜野恵の両者において販売及び販路開拓を行う。



レトルトごはん



収穫の様子



### ➤ 連携による効果

農林漁業者

5年で約170万円の売上高増加。

安定した販売先を確保することによる生産規模の拡大、及び作業人員の確保。

中小企業者

5年で約2,400万円((株)フレアシステム)、約680万円((株)旬喜野恵)の売上高増加。

病院・介護業界向けの健康機能を付加したレトルトごはん等の開発・販路拡大による売上増。

### ➤ 代表企業等の連絡先

企業等名 : 株式会社フレアシステム  
 TEL : 0166-33-8981  
 E-mail : info@flaresystem.jp

所在地 : 北海道旭川市永山北一条10丁目4番6号  
 FAX : 0166-39-2585  
 ホームページ : <https://www.facebook.com/flaresystem.chachacha/>